



三島神社



御鎮座壹千貳百年（平成18年）

伝える心 伝わる心



昭和42年竣工拝殿



—春季例祭—

国指定重要無形民俗文化財「伊豫神楽」奉奏 (4月14日)



御祭神

主神 おおやまづみのかみ
大山積神
配神 いわながひめのかみ
磐長姫神
このはなさくやひめのかみ
木花開耶姫神



保田牛鬼

由緒

当社は、平安時代の初期大同元年（八〇六）に越智郡（現今治市）大三島大山祇神社より堀部公園の地に勧請され、鎌倉時代文永十一年に至って、現在地尾串森に鎮座されたと伝えられています。

橘氏をはじめ、西園寺氏や伊達氏など歴代領主の崇敬篤く、鎌倉時代後期の永仁五年には、橘重忠が社殿を修めて御鏡を奉納しており、また、室町時代後期には西園寺公広が当社を城南・土佐国に至るまでの五郷の総鎮守として崇敬し、永正十五年社殿を再興し、書写の大乗妙典六六部を奉獻しています。なお、この社殿の再興が行われた当時に寄進されたとみられる「狛犬・獅子」は今なお現存し、平成十二年に市指定工芸文化財の指定を受けています。

その後も代々崇敬篤く、神社の下に馬場を作り正月三日には御野始めの行事が行われていました。

以後も、氏子崇敬者の深い信仰は続き、現在九島を含めて宇和島市城南地域の総氏神として崇敬を集めています。

例祭

春季例祭	4月14日 国指定重要無形民俗文化財「伊豫神楽」奉奏
夏越の大祓	7月31日 輪抜け神事・花火打ち上げ
秋季例祭	10月14日 神輿御神幸・走り込み

参集殿

祖霊舎（神道による祖先祭祀の施設）

大広間、和室

※用途はお問い合わせください。

伝える心 伝わる心



昭和42年竣工拝殿



元文3年竣工の三間社流造り御本殿と室町時代木造狛犬獅子一對

伝統を受けついで



尾申森三島神社社務所



春まつり

—春季例祭—

国指定重要無形民俗文化財「伊豫神楽」奉奏 (4月14日)



秋まつり

—秋季例祭—



祖霊舎

祖霊舎（神道による祖先祭祀の施設）
大広間、和室
※用途はお問い合わせください。



参集殿広間



御鎮座 1,202 年
三島神社

〒798-0082
 宇和島市長堀 2 丁目 5-27
 TEL.0895-22-2042